

～市政のここが聞きたい～

市民のみなさんの暮らしをより良いものにするため、市に対して質問を行いました。主な内容をお知らせします。

全ての一般質問を動画で視聴できます

箕面市議会

検索



動画の内容は公式記録ではありません。

重度重複障害者の日常生活の現状と課題



大阪維新の会箕面
武智 秀生

問 日常介助や医療的ケア、移動、貧困、家族の高齢化などの課題に対し、①防災対応のための消防本部による戸別訪問②市営住宅への優先入居促進③グループホーム建設を提言するが、市の見解は。

答 ①独居高齢者に加え重度障害者も訪問対象とし、火災予防の助言など

支援を行う。②抽選に優遇倍率を適用している。③地域に密着した生活基盤として重要であり、本市独自の整備補助などを行っている。



地域防災ステーションの開錠方法について



自民党市民クラブ
中井 博幸

問 地域防災ステーションの資器材は、被災者の救助活動に迅速に活用されるべきである。今のシステムでは限られた人だけが開錠できないため、全ての鍵が共通番号で開くようにすべきだが、見解を問う。

答 資器材の盗難などの不測の事態を避けるため、自治会の役員な

どに限って鍵番号を共有いただいているが、今後、地区防災委員会で議論いただくなど、有効活用できる方法を検討したい。



資器材を備えた大型ベンチ

自転車交通計画のソフトとハードについて



公明党
岡沢 聡

問 ①平成22年の中学生自転車死亡事故を教訓に進められてきた自転車安全事業や自転車保険の周知・啓発などソフト面の取り組みの効果と進捗は。②安全で安心なまちづくりには、自転車走行空間の整備などのハード面の確立も必要と考えるが、市の取り組みは。

答 ①事故件数は減少傾向になく、保険の認知度も低いことから、関係機関と連携し、効果的な交通安全対策の検討や保険加入の啓発を進める。②日常的に人が集まる施設への自転車での安全な来場を重要視し、整備箇所やルート検討のための調査、計画立案を進めている。

教育現場の声を聞くことについて



箕面政友会
内海 辰郷

問 教育現場には、非正規として働く任期付短時間勤務職員がいるが、恒常的基幹的業務を担っているのに、昇給は3年に一度で、退職金はなく年金満額受給年齢までの雇用保障もない。正規職員との格差は大きく、労働環境や待遇の改善が喫緊の課題と考えるが、見解は。

答 任期付職員は、市役所業務、学校運営における本格業務の担い手として活躍が期待されており、引き続き、臨時職員労働組合との協議や職員の声を傾聴しながら、可能な範囲で処遇改善に努める。雇用期間についても、65歳まで雇用可能とする方向で協議していきたい。

“まちなかのみどり”を守り育てるために



大阪維新の会箕面
神代 繁近

問 ①本市の“まちなかのみどり”の現状は。②「まちなかのみどり支援」を追加した「箕面市みどりの基本計画」の実績は。③みどりづくりの総合的な発信・企画を担う「NPO花とみどりの街・箕面」への新たな支援策は。

答 ①既成市街地の緑被率*は府全体

と同水準にある。②みどり支援基金を創設し、市民が身近なみどりを守り育て、広げる活動に助成している。③将来的に、みのお山麓保全委員会のような中間支援組織になり得るなら、新たな支援の方策も検討できると考える。

他に運動会における「組体操」について

樹木管理のための職員採用・育成について



大阪維新の会箕面
尾上 克雅

問 樹木に対する苦情が年間400件にのぼると聞き及んでいる。職員に樹木の専門的知識が必要と考えるが、以下の見解を問う。①採用試験の資格要件に土木・建築に関するものはあるが、造園がないのはなぜか。②専門知識を持つ職員をどのように育成しているのか。

答 ①採用試験(技術職区分B)に、造園に関する高度の技術資格である1級・2級造園施工管理技士を新たに資格要件として加えていく。②造園や樹木に関する知識・経験を有する職員の育成に向けて専門的な研修などを通じてスキルアップをはかり人材育成に努める。

捕獲したシカ・イノシシを活かす地方創生を



無所属
北川 照子

問 近年、シカ・イノシシが増え、森林や農地が荒らされる被害が多発している。昨年は大阪府の指示で、本市で250頭、府域で5,000頭が捕獲されたが、ほぼ全てが焼却処分された。捕獲獣を活かす食文化や皮利用など、北摂地域で事業検討するための課題と可能性を問う。

答 有害駆除した野生獣を食肉処理するには、法に基づく厳しい基準をクリアした設備が必要で、多額の費用がかかる。また、捕獲数が少なく食肉の安定供給が難しいため、本市から近距離に施設を設けて採算のあう運営は容易でないと考えるが今後も情報収集は続けていく。

新駅を巡るバス問題について



自民党市民クラブ
稀野 一三

問 ①北大阪急行線延伸により100年ぶりに市内に新駅ができるが、市民の移動手段の利便性向上にはバス路線の充実も必要。市の考えは。②新名神高速道路開通後の長距離運行バスや現在他駅を起点とするスクールバスが新駅へのアクセスを希望すると思うが、市の考えは。

答 ①市の東西交通を担うバス路線網は現在脆弱であり、市民意向を把握の上、バス事業者などで構成する法定協議会で延伸に合わせた再編を検討する。②新駅の交通広場に乗降場所を確保する。交通広場の実施設計時期にスクールバスを運行する学校の意向調査も行う。

*緑被率…対象となる地域の面積に対して、樹林・草地、農地、園地などの「みどり」で覆われる土地の面積割合で、自然度を表す指標の一つ。夏に撮影した空中写真などを測定データとして用いている。



一般質問

豊能町消防事務の全部受託について

自民党市民クラブ
上田 春雄



問①現在の体制が今後どのように変わり強化されるのか。②経費メリットは。③受託によって豊能町と本市北部地域の消防体制は強化されるが、箕面森町第3区域の企業誘致や人口の増加、新名神高速道路の開通など、北部地域の今後の状況変化にどう対応するのか。

答①指揮命令系統と部隊活動の一元化で、災害に応じた迅速な出動が可能となる。②臨時的経費を除き、5年間で約3,900万円削減の見込み。③豊能消防署管内からの出動で安定的消防体制を確保。高速道路対策は近隣インターチェンジ管轄の茨木市・川西市と連携強化の予定。

「都市農業振興基本法」をどう生かすのか

日本共産党
神田 隆生



問衆議院本会議で全会一致で可決・成立した都市農業振興基本法について、以下を問う。①都市農業は、軽視され都市から排除すべきものとして扱われてきたが、同法を本市でどう生かすのか。②同法を生かすために法制度の改正を求めていくべきと考えるが、市の見解は。

答①箕面産農産物の消費流通の確立をはかるなど、都市農業振興を推進している。今後も本市農業の安定的な継続と農地機能の発揮を促す取り組みを講じていく。②都市計画や生産緑地制度、更に税制の動向も注視しながら、大阪府と連携し、国に対して要望していく。

スポーツ施設の充実について

自民党市民クラブ
林 恒男



問本市第一・第二市民プールの平成26年度の利用者数が、前年度と比較して両施設とも大幅に減少している中、近隣市のプールは大人気を博している。屋内温水プールをはじめ流水プール、ウォーター 슬라이ダーなどのあるレジャー志向のプールを新設してはどうか。

答多くの機能を備えたプールは、子どもの体力作りや幅広い世代のレクリエーションの場として有益だが、土地の確保の問題や、施設の整備や遊具の維持管理に多額の経費がかかるなどの課題がある。他市の状況や有効な財源の確保方法などを含め、総合的に検討する。

アドプト・自主管理活動支援制度について

無所属
増田 京子



問①6月議会で議論があった堂之前緑地での畑使用が続いているが、その後の対応は。②法定台帳である公園台帳に不正確な点が散見された。GIS^{*}化に伴う今後の見直しは。③よりよいアドプト制度にするために、自主管理活動団体が情報交換できる場が必要ではないか。

答①他の自主管理団体との整合性の観点で検討しており、早期に解決策を見出したい。②一部台帳の更新作業がされていない箇所がある。GIS化の中でしっかりと整備したい。③市が活動の現状を把握できる貴重な場としても情報交換会などの実施を検討したい。

※GIS…地理情報システムの略。地理的位置を手掛かりに位置に関する情報を持ったデータを総合的に管理・加工し、視覚的に表示し、高度な分析や迅速な判断を可能にする技術。



市立病院の建て替えについて

公明党
西田 隆一



問老朽化が進む現在の施設の維持には約85億円の投資が必要と聞く。ならば、時期、経費、財源確保策、更には医療保健センター機能の付加も検討しながら、建て替えの判断が必要と考えるが、見解は。
答患者数増加や新たな医療技術、検査機器などの導入に対応するに

は、既存施設では限界があり、早期に建て替えの判断が必要と考えている。今後、建設費用、財源確保策を含め、総合的に検討していく。



就学援助の申請の改善と基準額の引き上げを

日本共産党
名手 宏樹



問子どもの貧困対策の中でも、就学援助は市町村の重要な義務的制度である。①申請漏れを防ぐ対策は。②年度初めの負担を軽減する仮認定制度を検討すべきでは。③市として予算を確保し、受給基準を生活保護基準額の1.2倍から1.3倍に戻すべきではないか。

答①年度初めに保護者全員に意向を確認し、希望者へ必要書類の配布を検討。②保護者、市ともに煩雑な作業が発生することなどから導入は考えていない。③現在の係数は、必要な世帯へ適正に支援されるよう他市との均衡を踏まえて設定しており、変更する考えはない。

障がい者市民の暮らしと自立について

無所属
中西 智子



問①日中活動や社会活動の支援、親亡き後などの対応策は。②将来的支援に向けた権利擁護体制作りは。③あかつき園建て替え素案作成の進捗状況は。④精神障がい者への医療・交通の支援策の遅れを問う。⑤障害者事業団が製袋事業を仕切り、工賃向上をめざすべきでは。

答①環境整備が最重要と認識し、グループホーム整備を重点施策に位置づけている。②関係機関・団体と体制作りを検討する。③10年先の全市のニーズを踏まえ検討中。④府や事業者の方針によるので、今後も働きかける。⑤職域開拓の観点も意識し取り組んでいきたい。

高校中退を予防する取り組みを問う

箕面政友会
中嶋 三四郎



問子どもたちに切れ目のない継続した支援を行うため、高校と中学校の学校間に加えて、大阪府と本市がそれぞれに配置するスクールソーシャルワーカー同士の連携も不可欠である。府とも協議し、情報共有などの連携作りを進めてほしいが教育委員会の見解を問う。

答大阪府と本市のスクールソーシャルワーカー間で情報の共有や引き継ぎなどの連携は特に行われていない。今後、高校における活動状況などの把握を行いながら、連携の在り方などについても、子どもの貧困の連鎖根絶をめざすプロジェクトの中で検討していく。

学校給食について

箕面政友会
二石 博昭



問①中学校給食を導入してから2年が経過した。給食残渣が平均10%程度発生しているが、要因分析して対策を講じているのか。②年間約5億円の学校給食費を私会計の学校給食会に委ねている。公会計の箕面市一般会計へ移行すべきと考えるが見解を問う。

答①野菜中心の献立になると残渣が増える。成長期に野菜類の摂取は重要で、今後も献立の工夫を行っていく。②学校給食会は保護者や職員が主体的に関与できる利点があるが、公会計はより透明性が高いとされる。公会計化の課題を整理、検討し早期に結論を出したい。